

平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成 16年 8月 9日

（コード番号：4208 東証第1部・福証）



上場会社名 **宇部興産株式会社**

（URL <http://www.ube.co.jp>）

問合せ先 代表者 取締役会長兼社長

常見 和正

責任者 I R広報部長

泉原 雅人

TEL (03) 5419 - 6110

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
（内容）

法人税等の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。

② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
（内容）

連結 (新規) 2社 (除外) 1社 持分法 (除外) 1社

2. 平成17年3月期 第1四半期の財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満四捨五入表示）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期 第1四半期	132,367	12.5	2,879	163.2	596	—	42	—
16年3月期 第1四半期	117,697	—	1,094	—	△824	—	△778	—
(参考) 16年3月期	511,373		22,017		15,137		△13,635	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期 第1四半期	0 05	— —
16年3月期 第1四半期	△0 93	— —
(参考) 16年3月期	△16 07	— —

(注)①売上高、営業利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

②平成16年3月期第1四半期は、四半期業績開示の導入初年度のため、対前年同四半期増減率の記載を省略しております。

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期の事業環境は、ナフサ、ベンゼン、石炭等、原燃料価格の高騰や、セメント内需の引き続いての減少など、マイナス要因があったものの、アジア経済の好調、デジタル家電の需要拡大などにより、総じて堅調に推移しました。このような状況下、当社の業績は前年同四半期に比べ増収、増益となりました。

売上高は、機能品・ファインセグメント、機械・金属成形セグメントの増収等により、前年同四半期比14.6億円（12.5%）増の1,323億円となりました。営業利益は、機能品・ファイン製品の数量効果が大きく寄与したことなどにより、前年同四半期比17億円（163.2%）増の28億円となりました。この結果、前年同四半期が赤字であった経常利益、当期純利益につきましても、それぞれ14億円増の5億円、8億円増の0.4億円と、黒字化したしました。

なお、当社の第1四半期は、化成品・樹脂及び機能品・ファイン製品の製造工場の定期修理が第1四半期に集中すること、建設資材部門の主力製品であるセメントの需要が下期に偏ること、機械製品の売上計上が年度末に集中することなどの季節要因による影響を受け、他の四半期に比べ低水準となる傾向にあります。

セグメント別の概況は以下の通りです。

① 化成品・樹脂

売上高は、カプロラクタム、合成ゴム、ポリエチレンの出荷が堅調に推移しましたが、APAO（非晶性ポリオレフィン）の事業売却などに伴う減収等により、前年同四半期比9億円（2.6%）増の377億円にとどまりました。当セグメントの第1四半期の営業利益は、工場の定期修理による補修費増、操業度減などの影響を受けるため、例年低水準となります。前年同四半期比では、原料価格高騰の影響を製品価格への転嫁などによりかなりの部分カバーしたため、1億円減の△7億円となりました。

② 機能品・ファイン

売上高は、ポリイミドフィルムや2層CCL（無接着剤タイプ銅張積層板）、リチウムイオン電池用セパレータ・電解液などの機能性材料の出荷が好調であったこと、昨年10月に実施した宇部日東化成の連結子会社化の影響、医薬品原体・中間体の増収などにより、前年同四半期比76億円（58.4%）増の207億円となりました。営業利益は、機能性材料の数量効果に医薬品原体・中間体の増販益や合理化効果も加わり、前年同四半期比14億円（198.4%）増の22億円となりました。

③ エネルギー・環境

売上高は、前年同四半期に比べ石炭価格が大幅に上昇したこと、当社連結子会社（株）ユービーイーパワーセンター（独立発電事業者：IPP）が本年3月から運転を開始したこと等により、前年同四半期比17億円（45.2%）増の56億円となりました。営業利益については、預り炭数量の増加などにより前年同四半期比1億円（40.9%）増の4億円となりました。

④ 建設資材

売上高は、前年同四半期に比べ、内需の減少によりセメントが減収となりましたが、石灰関連製品などの増収により、ほぼ前年同四半期並を確保し、3億円（0.9%）増の423億円となりました。営業利益については、セメントの売上高減や燃料用石炭価格の大幅上昇による減益要因を、グループ会社の収益改善と産業廃棄物処理増などのコストダウンによりカバーし、前年同四半期並の13億円（5.8%増）となりました。

⑤ 機械・金属成形

売上高は、成形機など機械製品の増収等により、前年同四半期比42億円（20.3%）増の248億円となりました。営業利益は、アルミホイールにおいて、米国工場の労働争議の影響が引き続き残るため、△5億円となりました。なお、前年同四半期比では売上高の増加などにより2億円の改善となりました。

⑥ その他

売上高は10億円（前年同四半期比△2億円、20.3%減）、営業利益は1億円（前年同四半期並）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期 第1四半期	713,321	85,125	11.9	98 04
(参考)16年3月期 第1四半期	737,935	94,626	12.8	112 78
(参考)16年3月期	699,498	85,756	12.3	97 77

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加などにより、資産合計は前期末に比べ138億円増加し、7,133億円となりました。

負債については社債を発行したことなどにより148億円増加し、6,133億円となりました。

株主資本については、為替換算調整勘定による減額が9億円増加したことなどにより6億円減少し、851億円となりました。

【参考】平成17年3月期の連結業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

第1四半期の業績は、好調な機能性材料事業等に支えられ、計画を上回る水準で推移していますが、一方第2四半期以降、化学関係の原料価格が一段と騰勢を強めていること、また、北米アルミホイール事業の回復状況が必ずしも充分ではないことなど、依然先行き不透明な部分が残るため、前期決算発表時に公表した当期業績予想は、現時点では修正いたしません。

要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第1四半期末 (平成16年6月30日現在)		前連結会計年度末 (平成16年3月31日現在)		増減 金 額	前第1四半期末 (平成15年6月30日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
現 金 及 び 預 金	41,626	5.8	29,909	4.3	11,717	40,372	5.5
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	132,615	18.6	129,719	18.5	2,896	123,697	16.8
た な 卸 資 産	78,368	11.0	76,631	11.0	1,737	80,607	10.9
そ の 他 流 動 資 産	20,154	2.8	20,961	3.0	△ 807	24,105	3.3
固 定 資 産	440,493	61.8	442,238	63.2	△ 1,745	468,352	63.4
繰 延 資 産	65	0.0	40	0.0	25	802	0.1
資 産 合 計	713,321	100.0	699,498	100.0	13,823	737,935	100.0
有 利 子 負 債	428,884	60.1	409,751	58.6	19,133	454,952	61.7
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	90,988	12.8	86,169	12.3	4,819	87,846	11.9
そ の 他 負 債	91,512	12.8	100,628	14.4	△ 9,116	84,175	11.4
負 債 合 計	611,384	85.7	596,548	85.3	14,836	626,973	85.0
少 数 株 主 持 分	16,812	2.4	17,194	2.4	△ 382	16,336	2.2
資 本 金	43,615	6.1	43,565	6.2	50	43,565	5.9
資 本 剰 余 金	13,461	1.9	13,411	1.9	50	9,606	1.3
利 益 剰 余 金	29,396	4.1	29,421	4.2	△ 25	43,972	6.0
そ の 他	△ 1,347	△ 0.2	△ 641	0.0	△ 706	△ 2,517	△ 0.4
資 本 合 計	85,125	11.9	85,756	12.3	△ 631	94,626	12.8
負債、少数株主持分及び資本合計	713,321	100.0	699,498	100.0	13,823	737,935	100.0

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第1四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)	前第1四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年6月30日)	増減	前連結会計年度 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
売 上 高	132,367	117,697	14,670	511,373
売 上 原 価	109,857	98,662	11,195	411,209
売 上 総 利 益	22,510	19,035	3,475	100,164
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	19,631	17,941	1,690	78,147
営 業 利 益	2,879	1,094	1,785	22,017
営 業 外 収 益	2,260	2,033	227	10,633
営 業 外 費 用	4,543	3,951	592	17,513
経 常 利 益	596	△ 824	1,420	15,137
特 別 利 益	420	502	△ 82	7,142
特 別 損 失	338	344	△ 6	31,742
税金等調整前四半期(当期)純利益	678	△ 666	1,344	△ 9,463
法 人 税 等	777	308	469	3,598
少 数 株 主 利 益	△ 141	△ 196	55	574
四 半 期 (当 期) 純 利 益	42	△ 778	820	△ 13,635

事業の種類別セグメント情報

当第1四半期（自平成16年4月1日 至平成16年6月30日）

（単位：百万円）

	化成品・ 樹脂	機能品・ ファイン	エネルギー・ 環境	建設資材	機械・ 金属成形	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	37,779	20,764	5,610	42,313	24,848	1,053	132,367	—	132,367
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,387	374	1,864	709	461	150	4,945	(4,945)	—
計	39,166	21,138	7,474	43,022	25,309	1,203	137,312	(4,945)	132,367
営業費用	39,900	18,915	7,057	41,631	25,829	1,040	134,372	(4,884)	129,488
営業利益	(734)	2,223	417	1,391	(520)	163	2,940	(61)	2,879

前第1四半期（自平成15年4月1日 至平成15年6月30日）

（単位：百万円）

	化成品・ 樹脂	機能品・ ファイン	エネルギー・ 環境	建設資材	機械・ 金属成形	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	36,813	13,105	3,864	41,946	20,647	1,322	117,697	—	117,697
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,166	515	1,299	646	164	18	3,808	(3,808)	—
計	37,979	13,620	5,163	42,592	20,811	1,340	121,505	(3,808)	117,697
営業費用	38,601	12,875	4,867	41,277	21,626	1,183	120,429	(3,826)	116,603
営業利益	(622)	745	296	1,315	(815)	157	1,076	18	1,094